



NPO Honokuni  
Forestry Association

# Forest

**フォレスト** NPO (特定非営利活動法人)  
**Vol.099 穂の国森づくりの会**

〒440-0888  
愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地  
太陽生命豊橋ビル2F  
Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276  
E-mail/honokuni@honokuni.org  
http://www.honokuni.org/

平成29年6月12日(月)、豊橋商工会議所3階ホールで、第17回定時総会を開催しました。平成28年度事業報告及び収支決算報告、平成29年度事業計画及び収支予算案等の議案の全てが承認されました。

20周年を迎える平成29年度は、これまでの事業を振り返りつつ、この先20年の間に当会が担う役割について検証を進めます。

同時に、豊川流域圏の森林の多面的価値を見直し、保健・レクリエーションや研修の場としての森林を活用した新事業を始めます。

事業全般を通じて、様々なかたちで森林や中山間地域(水源地域)に係わる人材の育成とネットワーク化を図っていききたいと思います。

(もりみの)

## 平成29年度事業の概要を紹介します!

### 森づくり部会

#### ① はじめての森づくり体験講座

森づくりに関心のある親子や女性、シニア層、スポーツ愛好家を対象にした座学や初心者向けの簡単な森林整備体験イベントを開催します。イベントの詳細は、本誌やホームページ等で随時ご案内します。



#### ② プリティフォレストクラブ活動

個人会員の有志により結成された森林整備活動。会員の方ならどなたでも大歓迎。ボランティアベースで東三河地域内の人工林で間伐等を行います。活動は、11月から3月の週2回(水曜日と土・日曜日のいずれか)開催します。



#### ③ 穂の国みんなの森活動

設楽町の段戸国有林内のスギ、ヒノキ林伐採跡地約2.4haを、林野庁中部森林管理局と協定を結び、平成13年度から落葉広葉樹を中心とした自然林再生に取り組んでいます。本年度は、4月～11月にかけて樹木の生長量調査や除伐等を行う予定です。



#### ④ 穂の国石巻の森活動

豊橋市の豊橋国有林内の風倒木災害跡地0.6haを、林野庁中部森林管理局と協定を結び、平成23年度から常緑広葉樹を中心とした自然林の再生に取り組んでいます。本年度から、誰でも気軽に参加できるように、定期活動日を隔月に設けます。詳しくは、本誌Vol.98をご参照ください。



#### ⑤ ウッドパーク平尾活動(旧:平尾の森活動)

森の名称を「ウッドパーク平尾」と決定し、森林整備だけではなく森林レクリエーションを楽しめるように整備を進めます。本年度から、誰でも気軽に参加できるように、定期活動日を隔月に設けます。詳しくは、本誌Vol.98をご参照ください。



### 環境教育部会

#### ① 森林環境教育支援事業

豊川市内の小学校の野外活動を森林インストラクター会「愛」や設楽町のボランティアガイド、愛知森林管理事務所等と協働で支援します。本年度は、21校の実施を予定しています。

また、小学5年生を対象に、森林の多面的機能や林業、木材の話などを小学校に出向いて説明する「訪問授業」を関係機関と連携して実施します。



## ② 森に親しむ事業

多くの市民に森林地域の自然や森林資源の良さを実感してもらうため、自然観察会を三河生物同好会等と協働で開催します。自然観察会の情報は、本誌やホームページ等で随時ご案内します。

また、昨年に引き続き(株)WABISABI(ハズフォルニアが法人化)と連携して海外観光客に奥三河地域の自然、文化等をPRする企画を検討します。



## ③ 木育推進事業

愛知県内で開催される各種イベントで、ブース出展をして幼児でも簡単に作ることができる木工教室を開催すると同時に、当会の活動をPRします。



## ④ 木材の利用拡大事業

豊橋木材商工協同組合と連携して、木材の利用拡大に関する啓発活動を行います。

また、木質資源(特に未利用材)のエネルギー活用の可能性について企業やNPOと連携しながら検討を進めます。

## 会員拡大部会

### ① 寄付型自動販売機「森づくりベンダー」を活用した啓発活動

(株)サン・カンパニーの全面的な協力のもと、東三河地域の各所に会の活動がラッピングされた自動販売機を設置し、会の活動のPRをします。

なお、この自動販売機の売り上げの一部は会に寄付されます。



### ② 森づくり支援事業

企業・団体等が行う森づくり活動や森林活用に対し、作業指導やイベント企画、講演等を行います。

また、支援活動を通じ企業会員の拡大、企業との連携強化を図ります。



### ③ 森林を活用した次世代リーダー養成研修

愛知県民の森で(株)WABISABIと連携して、森林を活用した企業等の次世代リーダー養成研修事業を年間3回程度試験的に実施します。詳しくは、本誌4頁をご参照ください。

## ④ 新城市内での活動拠点の検討

新城市内で施設の指定管理者の申請を視野に入れながら、新たな活動拠点を設けることを検討します。

## 事務局

### ① 設立20周年記念事業

豊川流域圏の森林の多面的価値を見直し、様々なかたちで森林や中山間地域(水源地域)の活性化に係わる人材の育成、ネットワーク化を図ることをテーマに、映画上映会(「うみやまあひだ」を予定)とフリーディスカッションを開催します。

開催日：**平成30年2月6日(火)** ※時間は未定

場 所：**穂の国とよはし芸術劇場プラット**  
「アートスペース」

### ② 定例交流会の開催

会員間や他団体との交流・情報交換と会の活動報告も兼ねた交流会を、第17回定時総会後に開催します。

### ③ 研修生の受け入れ

愛知県が勤続2年目の職員を対象に行っているNPOへの職場体験研修で、研修生の受け入れ機関として3名の職員を11月に受け入れます。また、要望があれば、大学生のインターンも受け入れます。



### ④ 生態系ネットワークへの参画

愛知県が推進している東三河生態系ネットワークと新城設楽生態系ネットワークに参画します。今年度は、愛知大学の学生による新城・設楽観察マップの制作に協力します。

## フォレスト編集局

### ① 機関紙「フォレスト」及び設立20周年記念誌の発行

会の活動の情報発信を行う機関誌「フォレスト」と設立20周年記念誌を編集し発行します。

(今年度のフォレストの編集、発行予定:Vol.98~100)

また、ホームページをリニューアルします。

### ② SNS等を活用した活動等の情報発信

ブログ、フェイスブックページ等を活用し、活動の状況やイベント情報等を頻繁に情報発信します。

# 穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介します

その8  
「碁盤石山」  
中西 正

## 新緑の碁盤石山自然観察会 2005.5.15

奥三河と言っても1000m級の山は少ない。今回の目的地はそんな中でも1189mの高さの立派な山であった。それだけの高さがありながら、それほど急峻な場所や岩場は無く、自然を観察しながらの登山には最適な山である。名倉から入り、津具との境付近にある登山口から登りはじめる。

登山口周辺はスギ・ヒノキの植林地であり暗い雰囲気である。しかし、すぐ落葉樹の二次林となり明るくなった。ミズナラ林ではミツバツツジやモチツツジ、ノリウツギが生えている。



▲碁盤石

アカマツ林ではその下にリョウブやネジキなどが生えている。草本としては広くネザサが広がっている。天狗の庭や富士見岩などには大きな岩が配置したようにあり、一帯が草原になっている。そこにはススキが生えて、秋にはツリガネニンジンやアキノキリンソウが花を咲かせるだろう。天狗の庭からは名倉の里が見え、富士見岩からは奥三河の山々が見渡せる。条件が良い時には岩の名の通りに富士山が見えるという。

林床のササがきれいに揃っている場所が気になった。よく見るとリョウブの樹皮が赤くなっているものも目に付いた。これらはシカの仕業に違いない。シカによってササが喰われ、丈が揃えられ、リョウブの皮がはがされている。シカによって植生が変えられた地方もあるという。ここはそこまでは行ってないが、影響を受けていることは確かなようだ。



▲カワチブシ

やっと登り詰めたと思って頂上はその先であった。この偽頂上付近にはカワチブシ(トリカブト)が群生していた。ここでは、秋に青い兜の形をした花をつけることだろう。また一帯はアセビの低木が多く生えていた。トリカブトは猛毒があり、アセビにも毒があるために動物は食べないという。

本当の頂上にはブナ林が見られた。落葉広葉樹であるブナを優占種としてモミも交えた林になっている。ノリウツギ、オオカメノキ、サワフタギなどの低木があり、草本層はやはりササだった。ブナの森は1000mの山の勲章かもしれない。

下りには北側の茶臼山高原道路への道をとった。こちらの道の高低差は上りの半分以下で、バスはこちらに来ており大変楽に歩けた。茶臼山高原道路の終点には道の駅「アグリステーションなぐら」があり、ここで休憩を兼ねて買い物をした。この道の駅にはシーズンによってワラビやトウダイの芽などの山菜があり、地元の人が出す野菜も多い。ただ、良い品を手に入れるには早い時間帯がいいようだ。

下りには北側の茶臼山高原道路への道をとった。こちらの道の高低差は上りの半分以下で、バスはこちらに来ており大変楽に歩けた。茶臼山高原道路の終点には道の駅「アグリステーションなぐら」があり、ここで休憩を兼ねて買い物をした。この道の駅にはシーズンによってワラビやトウダイの芽などの山菜があり、地元の人が出す野菜も多い。ただ、良い品を手に入れるには早い時間帯がいいようだ。



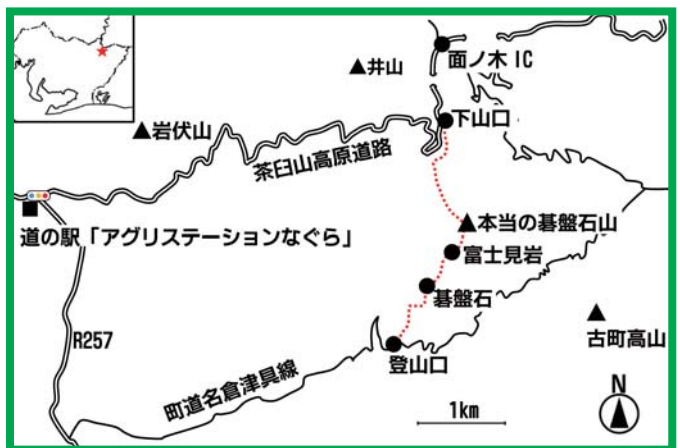
▲碁盤石山の登山口



▲富士見岩からの眺望



▲碁盤石山の頂上のブナ林



平成  
28年度

## 冬のプリティフォレストクラブ活動

1年を通し様々な活動を行っている会員有志による自主活動組織、プリティフォレストクラブ(略称・プリフォレ)。28年度も、無事終了しました。

間伐作業を中心に行われる冬の活動ですが、今回は旧鳳来町に隣接する新城市出沢(すざわ)地区で行いました。



▲作業前の様子

活動フィールドはプリフォレメンバーの持ち山で、雁峰林道沿いに立地していますが急峻な地形に加え碎石が堆積した「から

場」のため、活動は難航を極めました。ちょっと気を抜くと「ズルズル」と滑り落ちてしまいます。足を踏ん張り、バランスをとりながらの作業が続きましたが、作業が進むにつれバランス感覚も良くなり作業は順調に進みました。

近年にない寒いフィールドでの活動でしたが計22回行い、3.3haと1.7ha、計5haの間伐が終了しました。作業後の山を眺めるのは達成感もあり、至極のひと時です。気持ちよく陽が差し込み、森が輝いて見えます。



▲陽が差し込む作業後のフィールド

メンバーの皆さん、お疲れ様でした。また、有難うございました。29年度も引き続き、宜しくお願いします。

このプリフォレ活動は、会員の方ならどなたでもご参加いただけます。関心のある方や、一度体験してみたい方は事務局までご一報ください。なお、活動等の様子は当会ホームページの「活動日記」に掲載しています。是非、ご覧ください。

<http://honokuni97.exblog.jp/>

by 溪

## イベントインフォメーション

お申し込み、お問い合わせは、穂の国森づくりの会事務局へ

TEL0532-55-272 FAX0532-55-5276 E-mail honokuni@honokuni.org

9月13日(水)~  
14日(木)次世代リーダー  
養成研修

共催：(株)WABISABI  
場所：愛知県民の森  
集合：13日午前9時にモリトピア愛知玄関前  
解散：14日午後12時に集合場所(1泊2日)  
対象：企業等の若手・中間管理職員 先着20名  
参加費：50,000円/名(会員外は、58,000円/名)  
内容：①人工知能時代が進むと、働き方はどう変わるのか?  
②森林を活用したマインドフルネス  
③森林保全活動  
④焚き火チームビルディング  
⑤ムービングメディテーション 等

\*ご関心の企業様は、事務局までご連絡ください。  
プロモーション動画と申込み用紙等をお送り致します。

12月9日(土)

瀬戸岩屋堂  
自然観察ハイキング

共催：三河生物同好会  
場所：岩屋堂(瀬戸市)※バス使用  
集合：午前9時に豊橋信用金庫駅前お客様相談所前  
解散：午後5時に集合場所  
定員：先着40名  
参加費：3,000円/名  
内容：紅葉の秋から冬へと移ろいゆく岩屋堂の自然を観察しながら歩きます  
持ち物：昼食、飲料、雨具等  
申込み：12/4(月)までに参加者全員の氏名、住所、電話番号を事務局へ

## 寄付をいただきました。

ひまわり農業協同組合 様 金7,071円  
アサヒビール株式会社 様 金416,863円  
株式会社かんぽ生命保険岡崎支店 様 金1,000,000円

## 「森づくりベンダー」新規設置のご紹介

設置協力企業名：有限会社ハートヘルスファーム  
設置場所：豊川市金沢町